

《学校法人会計》

消費収支予算(総括)

(単位:千円)

	科目	予算額
消費収入の部	1 学生生徒等納付金	18,301,321
	2 手数料	564,872
	3 寄付金	1,478,778
	4 補助金	4,993,606
	5 資産運用収入	2,182,360
	6 事業収入	6,241,064
	7 医療収入	59,634,005
	8 雑収入	1,823,367
	[A] 帰属収入合計	95,219,373
	[B] 基本金組入額合計	▲8,319,356
[C] 消費収入の部合計([A]+[B])	86,900,017	
消費支出の部	1 人件費	44,064,615
	2 教育研究経費	45,152,790
	3 (医療経費)	(20,071,843)
	4 管理経費	3,266,654
	5 借入金等利息	74,204
	6 資産処分差額	0
	7 徴収不能引当金繰入額等	40,144
	8 予備費	300,000
[D] 消費支出の部合計	92,898,407	
収支差額	[E] 当年度帰属収支差額([A]-[D])	2,320,966
	[F] 当年度消費収支差額([C]-[D])	▲5,998,390
	[G] 前年度繰越消費収支差額	▲1,138,442
	[H] 翌年度繰越消費収支差額([F]+[G])	▲7,136,832

【消費収入の部について】

消費収支予算の帰属収入は、学生生徒等納付金183億100万円、寄付金14億7,900万円、補助金49億9,400万円、事業収入62億4,100万円、医療収入596億3,400万円など952億1,900万円[A]となる見込みです。

【6事業収入について】

事業収入62億4,100万円には、収益事業会計からの繰入収入として、収益事業収入3億6,800万円が含まれています。

【基本金組入額について】

基本金組入額は、教育研究活動に必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、帰属収入のうちから、土地・建物・構築物等の施設関係、教育研究用機器等の設備関係、施設設備の建設のために借り入れた借入金の返済額、および基金等を組み入れた金額であり、当年度は83億1,900万円[B]となる見込みです。

【消費支出の部について】

人件費440億6,500万円、医療経費を含む教育研究経費451億5,300万円、管理経費32億6,700万円など合計928億9,800万円[D]を計上しました。

【帰属収支差額について】

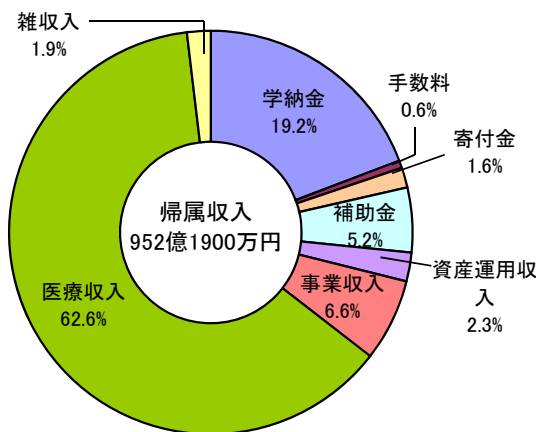
帰属収支差額[E]は23億2,100万円の収入超過となり、帰属収支差額比率([E]/[A])は、2.4%となる見込みです。

【収支差額について】

消費収支計算における収支の均衡状態は、消費収入[C]869億円と、消費支出[D]928億9,800万円の差額で表され、当年度消費収支差額[F]は59億9,800万円の支出超過となります。

(注1) 支出の部[3 医療経費]は、[2 教育研究経費]の内数である。

別表1《帰属収入の構成》



別表2《帰属収入に対する消費支出の構成》

